

12月定例議会を終えて

日本共産党上越市議会議員団 団長 橋爪 法一



11月30日にスタートした上越市の定例市議会は、2回の会期延長を経て17日に閉会しました。会期延長のもとになったのは子育て世帯への臨時特別給付をめぐって政府が迷走したからです。国民の声に応え、もっと早く全額現金給付を決定すべきでした。

さて、今回の定例議会は中川新市長にとって初めての議会となりました。どうなるか注目していた所信表明はごく一部にとどまり、先送りされました。それでいながら、中川市政の今後の運営に大きくかかわる副市長4人制や政策諮問委員の設置が提案されました。私たち議員団は、「まず全体の所信表明を行い、行政機構改革の大きな柱を示すべきだ」と主張しました。マスコミの一部には市長の看板公約なのに何を言うかという主張もありましたが、そういう重要な公約ならば、インターネットだけでなく、文書でも示してほしいかったです。

今回の市議会での質疑で中川市政がどういう展開をしていくのか、その一部が見えてきました。柏崎刈羽原発から30km圏内の自治体も再稼働の際の事前了解を持つべきだという見解や公立公的病院への再編の動きへの慎重姿勢など、評価できるものがいくつもありました。しかしその一方で、私たちがこれまでの村山市政で大きな問題だと指摘してきた行政改革路線は踏襲することがわかり、保育園のさらなる民営化案も出てきました。これらのことは、市民の暮らしにとって残念です。

私たち議員団は、今議会の総括質疑、委員会審査、一般質問でも市民の要望をとりあげてきました。就学援助、補聴器購入助成、気候変動対策等で、これまでに多くの積極的な回答を引き出すことができました。

今後も中川市長に市民の切実な願いを届け、その実現のために全力をそそぐ決意です。

大人の難聴対策に積極答弁

議員一般質問 橋爪 法一



橋爪議員はまた、医療問題について、県立病院の市町村移譲、民営化方針をどう見ているかとたえました。

中川市長は、「市が柿崎病院の経営主体となることは財政負担や医師確保の面からも困難なことから、引き続き県による柿崎病院の運営を求めている」と答えて、あくまでも県立維持を求める考えを明らかにしました。

しかし、その背景にある国による医療再編への考えを橋爪議員がただしたのに対しては、「国の技術的支援や財政的支援で、地域全体で安定的に提供できる医療体制が確保されていくことを期待している」と答えて、国の狙いが医療費削減にあることへの認識は示しませんでした。

橋爪議員は、12月議会の一般質問で、難聴対策について取り上げました。県内では、難聴対策の一つとして18歳以上の軽・中等度難聴者への補聴器購入補助制度が広がってきています。このことを踏まえて、当市でも取り組む考えはないかとたえました。

中川市長は、「現在行っている軽・中等度難聴児向けの補聴器購入補助制度は、18歳までが言葉を学習する大事な時期であることから、『相手の言葉を聞く力』『自分の思いを伝える力』をしっかりと身につけることを目的に実施している。しかし、軽・中等度難聴児の中には、18歳以降も補聴器が欠かせない方がいるほか、新たに補聴器が必要となる方もいる。また、県内でも18歳以上の軽・中等度難聴者への補聴器の購入補助を行う自治体が増えてきているので、今後の補助制度の在り方について検討していきたい」と答えて、積極的な姿勢を示しました。

地球温暖化対策にも意欲



議員一般質問 平良木 議員

平良木議員は、地球温暖化対策を取り上げました。日本政府は、COP26で温暖化対策が遅れていることを指摘され、不名誉な「化石賞」を受賞しましたが、上越市の地球温暖化対策実行計画が、その政府の目標と比べても遅れていることを指摘し、すぐに改訂するよう求めました。

中川市長ははじめ、「再来年度からの次期計画に向けて、現計画の検証や市民アンケート実施など、策定の準備を進めている」と答えましたが、平

良木議員が、「CO2は、遅れている日本政府の基準でもあと9年で46%の削減が必要である。そうした中で1年の遅れは非常に大きいのではないかと指摘すると、『徐々に目標に向かって努力を進めていくというのが私の姿勢だが、指摘を受けて、再検討したい』と積極的な姿勢を示しました。

平良木議員は次に、ゼロカーボンシティ宣言など市の姿勢表明についての考えをたえました。

これに対して市長は、「これまでの上越市の地球環境に対する取組はある意味で衰退したのではないかと考えているので、地球環境都市宣言という看板を一旦下ろしてもいいのではないかと考えた。その上で、環境問題に関してこれから先進的に取り組んでいく姿勢で臨みたい」と、意欲的に答えました。

上越保健所管内感染症患者発生状況
(12月17日現在)

PCR検査実施件数	18,049件 (前週+128)
管内陽性件数	343件 (前週±0)
上越市内陽性件数	306件 (前週±0)
陽性率	1.900% (前週1.914%)

日本共産党上越市議員団ニュース
No.734 2021年12月26日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))